

Song 3: The Missionary Song ミッシヨナリー・ソング

1930年代、1940年代には、それは多くの伝道師達が居留地を訪れました。もちろん、彼らはいつも居留地に来ておりましたが、私は特にこの時期の彼らの訪問をよく覚えております。

土曜の夜、日曜の朝、彼らは歌を歌っていました。教会に行くとそこには食べ物があるので、私たちはよくそれを聞きに行きました。教会は日曜の朝の人気のある場所でした。私たちにとっては教会へ行くのは、礼拝のためではなく、そこで頂くいくばくかの食べ物のためでした。しかし一つの歌が私を捕らえました。メロディが気に入り、それが耳に残っていました。ここで言いたいのは、私たちネイティブも自分たちの信仰、霊的な信仰を持っているという事。宣教師達が持たらした宗教のことではありません。でも、彼らが食物を供し、とても多くの者がそれによって生き延びたという事実です。

ですから、ここでミッシヨナリー・ソングを歌いましょう。